

令和3年度防府市産業戦略本部 第2回会合 議事録等

■開催日時・場所

令和4年2月21日（月）午後6時00分から
防府市役所1号館3階南北会議室

■次第

1 開 会

2 議 題

令和4年度当初予算（案）の概要について

令和4年度各種施策の展開等について

3 その他

4 閉 会

■配布資料

	資料名
1	令和4年度当初予算（案）の概要
2	令和4年度産業戦略本部関係予算（案）の概要（抜粋）

■出席者名簿

敬称略・順不同

種別	所属団体・役職	名前	出欠	
本部長	防府市長	池田 豊	出席	
本 部 委 員	大企業	マツダ株式会社 防府工場 総務部長	広政 利雄	欠席
		株式会社ブリヂストン 防府工場 総務課長	室田 聡	出席
		協和発酵バイオ株式会社 山口事業所防府 総務課長	大山 弘	欠席
		東海カーボン株式会社 電極製造所 副所長	野畑 光晴	出席
		株式会社丸久 代表取締役 副社長	清水 実	出席
	中小企業	王子ゴム化成株式会社 管理本部次長	尾高 盛巨	出席
		東山口信用金庫 本店 本店長	守田 誠	出席
		大村印刷株式会社 取締役営業統括副本部長兼本社営業本部長	黒川 紀文	出席
		有限会社周防タクシー 代表取締役	新原 耕由	欠席
		アボンコーポレーション株式会社 代表取締役	松村 憲吾	出席
		光浦醸造工業株式会社 代表取締役	光浦 健太郎	出席
		フラワースペース Co-co 代表	森本 幸代	出席
	関係団体	防府商工会議所 会頭	喜多村 誠	代理
		天神町銀座商店街振興組合 理事長	種田 正幸	出席
事 務 局	本部員	総合政策部 部長	石丸 泰三	
		地域交流部 部長	能野 英人	
		産業振興部 部長	白井 智浩	
		土木都市建設部 部長	石光 徹	
	庶務	総合政策部 部次長	伊藤 忍	
		総合政策部 政策推進課 課長	松田 伸一	
		総合政策部 政策推進課 課長補佐	大村 雅俊	
		総合政策部 政策推進課 企画政策係長	古谷 勝也	
		総合政策部 政策推進課 企画政策係 主任	國貞 裕司	
		総合政策部 政策推進課 企画政策係 主任	宗岡 孝俊	
総合政策部 政策推進課 企画政策係 主任主事	梅本 さゆみ			

■会議録

1 開 会

市長（本部長）挨拶

2 本部委員紹介

事務局から出席委員の紹介

3 令和4年度当初予算（案）の概要について説明

- ・池田本部長から、『「明るく豊かで健やかな防府」の実現に向けたまちづくり』、「防府・未来へのネットワーク構想」を中心に令和4年度当初予算（案）の概要を説明
- ・産業振興部長から、「民間活力を引き出す防府駅周辺の整備推進」、「中小企業の振興と防府で働く人たちの応援」について、主要な事業を説明
- ・地域交流部長から、「官民一体で進める観光振興」、「文化・スポーツによる交流の推進」について、主要な事業を説明
- ・土木都市建設部長から、『新たな道路網「防府・未来へのネットワーク」の構築』、「防府のまちの防災ネットワークの構築」、「空き家総合対策事業」、「強みを伸ばす産業基盤の強化」について、主要な事業を説明
- ・総合政策部長から、「カーボンニュートラルの推進」、「デジタル化の推進」、「新庁舎建設事業」、「ほうふっ子応援パッケージ」について、主要な事業を説明

4 各本部委員による意見

本部長	まずは、令和4年度当初予算（案）に対する意見を伺う。
A委員	第5次防府市総合計画を力強く推進する予算（案）と感じた。各分野に配慮が行き届いた予算（案）であると思う。
B委員	いのちの誕生支援や創業・交流センター整備事業など、予算（案）に掲げられた支援やサービスが本当に必要な人に行き届くよう、分かりやすい情報発信をお願いしたい。
C委員	子どもが健やかに育つ環境づくりについて、葉酸サプリメント配布事業など、子育て世帯のニーズにあった施策になっていると感じた。
A委員	プレミアム付商品券や子育て応援クーポン券の発行は、中小企業にとって大変ありがたい事業。中小企業での商品券やクーポン券の利用が増えてほしい。

- 本部長　　これまで実施してきたプレミアム付商品券は、コロナ禍で緊急的に実施してきたもので、その時の状況に応じて対策を変えていく必要があると考えている。市内経済の活性化にしっかりとつながるように考えていきたい。
- C委員　　防府市の認知度が低いと感じることがある。具体的に防府市をイメージしてもらえりようなPR方法があると嬉しい。
- C委員　　観光振興について、どの年齢層をターゲットに事業展開を進めていくのか方向性を持っておく必要がある。また、ダイバーシティの考え方を取り入れ、そのことをアピールすることで観光振興につなげることができると思う。
- 本部長　　現在、防府天満宮、周防国分寺、毛利氏庭園、阿弥陀寺の4つの観光拠点でポスターを作成しているとおり歴史のまちとしてPRしている。(あわせて、防府観光コンベンション協会から、「60歳前後の方をターゲットとしている。その方々が家族連れで訪れてもらえるようにPRしている。」との発言があった。)
- 本部長　　観光振興のため、防府市ならではのお土産や食べ物を作っていく必要があると考え、コンテスト方式でノベルティを制作しようとしている。アイデア等があれば伺いたい。
- B委員　　観光にとって、お土産の存在は大変重要と考える。防府といえば天満宮、天満宮といえば梅が連想されるので、梅をモチーフにしたデザイン性の高い商品が良いと思う。
- D委員　　防府市の花であるサルビアを梅とともに上手く活用してはどうか。
- 本部長　　ルルサス防府とアスピラートの愛称が「笑顔満開通り」に決定した。文化福社会館の一部機能の移転や市民ギャラリーの整備などを進める。駅周辺の賑わい創出について意見を伺う。
- E委員　　市民にネーミングにふさわしい場所になったと思ってもらえるよう、今後しっかりと活性化に取り組むことが重要と考える。
- F委員　　講座機能等が移転した後の文化福社会館の跡地利用計画を伺いたい。
- 本部長　　文化福社会館の機能はルルサス防府と市役所新庁舎に移転する。文化福社会館は撤去し、防災広場として整備する。日頃は公会堂でのイベント時の臨時駐車場や子どもたちが遊べるオープンスペースにしたいと考えている。

G委員

前回の産業戦略本部で提案したことが「ほうふの漁場環境整備モデル事業」として予算（案）に盛り込まれていることに感謝する。漁礁に鋳物を用いることで、鋳鉄からミネラルを海に供給し、藻場の再生や海底のヘドロ化を改善しようとする取組。

さらに、社会問題となっている繁茂竹林を活用した竹炭を鋳物に組み合わせることを考えている。全国的にも新しい取組であり、防府市の鋳物の歴史とともに防府を発信できると考えている。

また、「2050年の森づくりプロジェクト」における市有林の整備では、地下水に良い影響を与える広葉樹の植林を進め、山はもとより海の環境改善につなげてほしい。

本部長

鋳物を使った漁礁については、ブルーカーボンの新たな取組としてチャレンジさせていただく。将来、防府市だけではなく、日本海側にも広がってほしいと願っている。

広葉樹の植林については、経済林という考えとは別に、自然を守るという観点から考えていきたい。

A委員

新庁舎建設事業の中で、敷地内への防府警察署の移転を県に要望中とあるが、少しでも早く実現するように取り組んでほしい。

本部長

市民生活の安全・安心のため、新庁舎を中心とした行政ゾーンの形成にしっかりと取り組んでいく。

B委員

UJI ターン促進事業について、防府市の全国的な知名度は低く、移住先の候補になかなか挙がらないと感じる。現在、コロナ禍で都市部に住まなくても仕事ができる社会になってきているので、防府市にとってはチャンスと思う。防府市の知名度を高めるため、分かりやすい広告やキャッチフレーズなどでPRをしてほしい。

本部長

農林業の知と技の拠点もできることから、新規就農者対策にしっかりと取り組むので、様々な機会を通じて、移住者へのPRにつなげていきたい。

また、アフターコロナに向けて、しっかりと、そして、思い切った形で防府をPRしていきたい。

本部長

いただいた意見をしっかりと検討し、今後の対応につなげていきたい。また、施策が有意義なものとなるよう、引き続き、ご意見をいただきたい。

閉会